

科目名	基礎作業学演習Ⅳ(園芸)【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	小 浦 誠 吾						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選択必修(作業)
授業の概要 及びねらい	臨床において園芸を用いた作業療法ができるよう①園芸を行うことによって対象者の心理面、身体面、生活の質への影響を考察する。②基礎的な園芸の知識・技能を修得する。③対象者の障害・疾病、回復段階に応じた園芸活動の計画を行う。						
授業の 到達目標	1) 基礎的な園芸技法と知識を習得できる 2) 園芸を行うことによる対象者の心理面、身体面、生活の質への影響を考察ができる 3) 対象者の障害・疾病、回復段階に応じた園芸活動の計画が立案できる 4) 対象者の障害・疾病、回復段階に応じた園芸活動の段階づけができる 5) 園芸を作業療法の技法として用いた場合の多面的な効用を習得し臨床の必要性に応じて活用できる						
学習方法	園芸実習、講義およびグループ討議、施設見学						
テキスト及 び参考書等	・適宜プリントを配布します。 ・テーマに応じ、参考資料を随時紹介します。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎	○	○			50
授業態度			○				20
受講者の発表		○	◎	○			30
授業への参加度							
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	園芸療法の基礎① 背景・歴史						
第2週	園芸療法の基礎② 資格・作業療法との関係						
第3週	園芸療法の基礎③(実習)						
第4週	園芸療法の基礎④(実習)						
第5週	園芸療法の基礎⑤(実習)						
第6週	園芸の活動分析① 身体障害対象ロールプレイ						
第7週	園芸の活動分析② 老年期障害対象ロールプレイ						
第8週	園芸の治療的応用①(講義)						
第9週	園芸の治療的応用②(講義)						
第10週	園芸の実際① 身体障害分野						
第11週	園芸の実際② 発達生涯分野						
第12週	園芸の実際③ 老年期障害分野(認知症含む)						
第13週	園芸の実際④ 精神障害分野(認知症含む)						
第14週	高齢者福祉施設での園芸活動の実際						
第15週	精神科病院での園芸活動の実際						
第16週							
備考	上記は、植物の成長具合、天候などにより前後する場合があります。動きやすく、作業しやすい服装で参加すること。植物は、心を込めて、責任を持って育成させること						